



## 2023 年度検討テーマ

「安全で効果的な投薬プロセス」  
投薬は複雑なプロセスから構成されているため、診療上のエラーが発生しやすい。

各施設における投薬プロセスを共有することで、自施設の安全向上に役立てていただくことを目的として活動した。

## 部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎=部会長、○=副部会長

赤木 晋介○	公益財団法人大原記念 倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
川井 信孝◎	埼玉医科大学国際医療 センター
菅野 浩	社会福祉法人恩賜財団 済生会横浜市東部病院
佐藤 みづほ	独立行政法人国立病院 機構 甲府病院
佐藤 康弘	国家公務員共済組合連 合会 平塚共済病院
高橋 香織	社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院
宅和 真由美	パナソニック健康保険 組合 松下記念病院
土師 菜緒子	国立研究開発法人 国 立がん研究センター中 央病院
米倉 一郎	独立行政法人地域医療 機能推進機構 東京新 宿メディカルセンター

## 活動報告／成果物等

### セミナーの実施

- ・ 第1回セミナー  
9月2日開催（グループワーク形式、オンライン）  
> [開催報告](#)
- ・ 第2回セミナー  
2月2日開催（シンポジウム形式、オンライン）  
> [開催報告](#) / [アーカイブ配信](#)

## 総括

投薬は、医師の処方、薬剤師による処方監査や調剤、また看護師による指示受けや与薬など、多職種による複雑なプロセスから構成されています。そのため、コミュニケーションエラーや患者誤認をはじめ種々のインシデントが発生し、場合によっては患者さんに重大な結果を及ぼしてしまふことがあります。そこで、薬剤安全部会では昨年度より「安全で効果的な投薬プロセス」をテーマとし、アンケートやセミナーを通じて検討してきました。

本年度は投薬プロセスの中でも持参薬の管理、アレルギー薬の情報共有、検査前・術前休薬、職員・患者教育を中心に、オンラインにてグループワーク形式とシンポジウム形式で薬剤セミナーを開催し、会員病院の皆様とともに検討を行いました。いずれのセミナーも、全国の認定病院から医師、薬剤師、看護師をはじめ多職種にわたる大勢の方にご参加いただき、有意義な討論が行えました。期間は限定されますが、アーカイブ配信も行っていますので、興味を持たれた方は、ぜひご覧ください。

また、部会活動の一環として、会員病院からのご協力で収集した資料をWebで公開しています。現在は2021年度分と2022年度分の合わせて87件の資料が掲載されています。これらの資料は、提供施設が自施設に合わせて独自に作成したのですが、皆さまの施設にもフィットする物や、ヒントになる物があるかと思いますので、ぜひご覧いただき、参考にさせていただければ幸いです。

(部会長・川井 信孝)